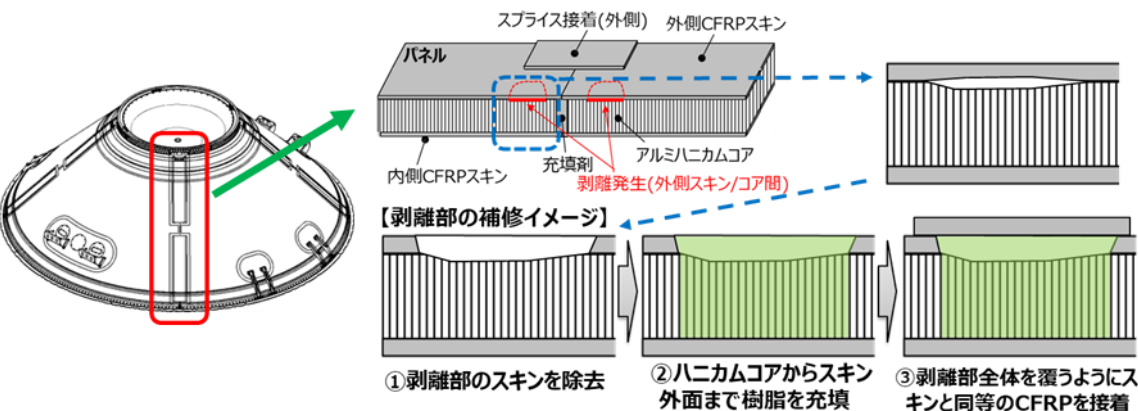
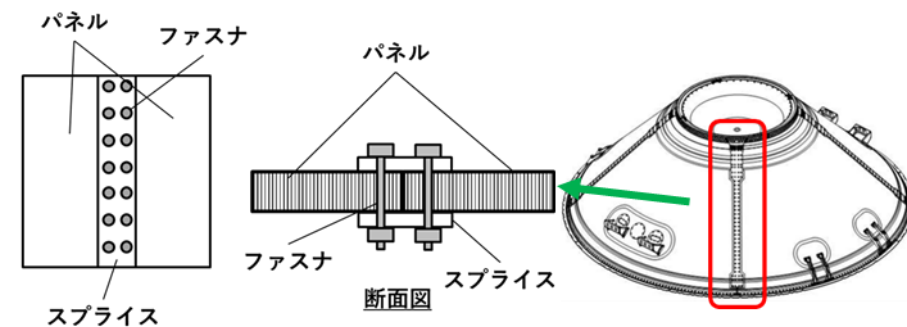


調査・安全小委員会 報告書（概要）

- 衛星フェアリング分離開始直後に、衛星搭載アダプタ（PSS）に損傷が発生したことが起点となり、「みちびき5号機」は、ロケットの第1段機体が分離された時点でロケットから離脱したと推定
- PSSの製造工程で生じた内部の剥離がフェアリング分離時の衝撃等により進展することで、PSSが破損したことが主要因であると特定
- 打上げ再開に向けた対策について、補修方式（樹脂充填等）、ファスナ結合方式（ボルト結合）ともに十分な強度余裕を確保可能と確認
- 当面、剥離のリスクを排除したファスナ結合方式PSSを適用。補修方式PSSを適用した30形態試験機にて取得したデータは、原因究明の分析結果を科学的・技術的に裏付けたものと評価
- 再発防止に向けた背後要因分析及び是正対策案については、JAXAにおいてロケット開発、組織全体の双方の観点から分析・評価され、合理的かつ妥当なものと評価



《補修方式PSSのイメージ》



《ファスナ結合方式PSSのイメージ》